

令和6年度 湯梨浜町立羽合小学校 学校経営方針

校長 知久馬 和紀

1 教育目標

「やさしく かしく たくましく」

～仲間とともに 地域とともに 未来を切り開く子どもの育成～

2 めざす児童像

- (1) 自分も友だちも大切にする児童（やさしく）
友だちと仲良く助け合い、素直で明るい児童
- (2) 自ら考え仲間と学びを深めようとする児童（かしく）
学ぶことの楽しさを知り、自分から学習に取り組む児童
- (3) 健康でたくましい児童（たくましく）
心や体が健康で、最後までやり抜く強い心を持つ児童
- (4) ふるさとを大切にする児童（地域とともにある学校づくり）
地域に愛着を持ち、地域とのつながりを広げていく児童

3 めざす学校像

- (1) 全ての児童が生き生きと活動し、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育まれる学校
- (2) 安全・安心で信頼され、期待される学校
- (3) 地域とつながり、地域に根ざし、地域とともに発展する開かれた学校

4 めざす教職員像

- (1) 使命を自覚し、一人一人の児童に確かな力をつける教職員
 - ・授業力、指導力向上に努める教職員
 - ・児童のよりよくなりたいという願いに共感する教職員
 - ・児童の成長を的確に捉え、本気でほめる教職員
- (2) 創意工夫し協働して取り組む教職員
 - ・課題意識を持ち、その解決に向けて工夫、改善に努める教職員
 - ・自らの考えを持ち協働できる教職員
- (3) 家庭・地域と連携し、豊かな教育実践をめざす教職員
 - ・保護者や地域の思いを受け止め教育実践を図る教職員
 - ・迅速で誠実な対応ができる教職員
 - ・積極的に情報発信、情報提供できる教職員

5 本年度の学校経営の重点

- 落ち着いた生活の中で、「個」と「集団」の力を伸ばす。
- 育てたい（身に付けさせるべき）資質・能力が身につく授業改善を進める。
- 地域とつながり、地域に根ざした教育活動を充実させる。

心豊かな子（やさしく）、ともに学ぶ子（かしこく）、たくましい子（たくましく）、開かれた学校の4プロジェクトチームで、めざす姿と具体的な方策、評価指標を作成し、それを実現すべく職員が一丸となり取り組む。

《心豊かな子（やさしく）プロジェクト》

（1）心を耕し豊かな心を育む。

○あたたかい学級づくりを進める。

- ・課題解決に向け、自分の思いを安心して伝えたり、友だちの思いを受けとめたりすることができる。

○友だちとのよりよい関係を築く。

- ・相手を大切にしたい言葉遣いができる。

《ともに学ぶ子（かしこく）プロジェクト》

（2）未来を切り拓く資質・能力を育成する。

○聞き方の基礎・基本の定着を図る。

- ・必要なことを落とさず聞き、相手が伝えたいことを中心をとらえ、比較しながら自分の考えをまとめることができる。

○話し方の基礎・基本の定着を図る。

- ・場に応じて話すことや思いを伝え合うことができる。

《たくましい子（たくましく）プロジェクト》

（3）健康でたくましい心と体づくりを行う。

○基本的な生活習慣の定着を図る。

- ・生活リズムが確立できる。

○あきらめず粘り強く身体づくりに取り組む児童を育成する。

- ・進んで運動し、目標に向かって粘り強く体力づくりに取り組むことができる。

《開かれた学校プロジェクト》

（4）地域とともにある学校づくり（地域との連携・活動の推進）

○積極的な情報発信と保護者の学校行事への参画。

- ・学校から積極的な情報発信を行い、学校や学級の様子や、学校の経営方針等を保護者や地域が共有している。

○地域に学ぶふるさと教育の推進を図る。

- ・地域に愛着を持ち、地域のひと・もの・ことにふれあい、交流を深めたり、地域に貢献したりする活動を積極的に行う。